

## 「第4回旧RD最終処分場跡地利用協議会」の議事要録

日 時：令和5年11月24日(金曜日) 20:09～21:35

場 所：栗東市総合福祉保健センター（なごやかセンター）集会室

出席者：(滋 賀 県) 森本琵琶湖環境部長、中村参与、湯木最終処分場特別対策室長  
奥野室長補佐、川端副主幹、外村主査、小形主任技師、福本主任主事、千代主任主事、コンサル2名

(栗 東 市) 上山副市長、高田環境経済部長、殿村環境政策課長、宮城課長補佐、川端係長

(自 治 会) 赤坂、小野、北尾団地、中浮気団地、日吉が丘、栗東ニューハイツの各自治会から計13名

(県議会議員) なし

(市議会議員) 田村市議、櫻井市議、上石田市議、伊吹市議

(報道機関) なし

(出席者数 33名)

### 1 跡地利用の状況と課題について

コンサルから資料1を説明

(1) 樹木について、根の張るものはあまり適さないのか。

⇒ (コンサル) 覆土構造を木の根が壊してしまう可能性があり、大きい根が生える樹木については、避けるべきである。

(2) 跡地に地面に建てる建物の基礎の形状について、重量のある建物はあまり向いていないことはわかるが、平面的な基礎であれば、可能なのか。

⇒ (コンサル) 沈下が起こる前提で考え、小屋ぐらいの軽微な建物が望ましい。

### 2 旧RD最終処分場周辺における地域開発の状況等について

栗東市から資料2を説明

(1) (当日資料を提示して質問) これは、昭和61年9月に栗東市議会に出された自然休養公園構想の資料である。当時の計画では墓地公園も含めて一体で計画がなされていた。今回、旧RD最終処分場跡地と栗東健康運動公園について、栗東健康運動公園に足りない部分を旧RD最終処分場跡地に振り分けるような計画ができるのではないかと。また、あわせて周辺道路の整備や、墓地公園との連携はどのように考えているのか。

⇒ (市) 旧RD最終処分場跡地と栗東健康運動公園の連続性を持った利用については、今後考えていきたい。健康運動公園の内容については、今後開催する予定の

懇談会を通して頂いた意見の調整を内部で図りたい。また道路についても、庁内で協議をして考えていきたい。なお、墓地公園については、整備を終えているため、拡張の予定は今のところない。

(2) 旧RD最終処分場の跡地利用だけでなく、道路などもふくめた地域のマスタープランについてしっかり考えてほしい。

⇒ (市) 道路の計画については、建設部としっかり調整した上でお返しできるようにしていきたい。

(3) 一帯を公園とする構想を生かして、旧RD最終処分場跡地をつかって計画を作ってほしい。その中に子供たちが喜べるような、公園施設を組み入れてほしい。

⇒ (市) 今後、皆様のご意見を聞きながら、計画に反映できる部分については反映し検討を進めていきたい。

### 3 事例紹介について

県から資料3を説明

跡地について、2事例の紹介と、既紹介地の利用形態について、沈下の観点から整理し説明、併せて、来年度に現地見学会を実施することを説明した。

### 4 その他

(1) 処分場内の調査井戸の一部については閉塞したが、残りの井戸についてなぜ閉塞しないのか。

⇒ (県) 問題のあった井戸と対策工事で支障になる井戸については、閉塞をした。それ以外の井戸についてはモニタリングを続けており、今のところは支障がなく、現時点では撤去の必要はないものと考えられる。